

■都市基盤施設の技術的な課題解決に向けた取り組み（協議録）

日 時：平成 28 年 5 月 26 日（木）13:30～17:30

場 所：【1 部】長瀬川（電光橋、天神橋）、玉串川（山本 11 号橋）、恩智川（大畑橋）

【2 部】八尾市役所 西館 4 階 会議室

出席者：近畿大学 理工学部 社会環境工学科 教授 米田 昌弘

教授 東山 浩士

情報学科 准教授 溝渕 昭二

八尾市 都市整備部

13 名

◎目 的（議題）

【1 部】現地視察

○長瀬川（電光橋、天神橋） ○玉串川（山本 11 号橋） ○恩智川（大畑橋）

【2 部】意見交換

○点検のあり方 ○市民協働 ○市民への情報発信

○ストックマネジメント ○点検ポイント ○点検・補修基準 ○工事発注

◎協議録（要旨）

【1 部】現地視察

1. 電光橋（L= 7.5m）架設 1951 年 補修 2014 年
2. 天神橋（L= 8.8m）架設 1980 年 補修 2015 年 ※国土地理院（航空写真）による判定
3. 大畑橋（L=25.0m）架設 1976 年 補修 2017 年（予定）
4. 山本 11 号橋（L=3.6m）架設 1969 年 補修 2017 年（予定）※国土地理院（航空写真）による判定

【2 部】意見交換

○点検のあり方

- ・市民に理解してもらえる維持管理（メンテナンス）の在り方について検討（議論）を進めていく。

○市民協働

- ・日常的な維持管理については、地元協力を取り入れる工夫がほしい。

○市民への情報発信

- ・維持管理の取組みが市民に見える取組みが必要である。

○ストックマネジメント

- ・人口減少のなか、将来的なインフラ（公共ストック）のあり方を検討しておく必要がある。
- ・将来的な目標を立てておく必要がある。

○点検ポイント

- ・損傷状況の写真やイラスト（図面）を残しておくことは非常に大事である。

○点検・補修基準

- ・限られた財源、人員のなか、全て（2 m 以上）国の基準で対応することは現実的に難しい。
- ・例えば、小規模な 5 m 以下の橋梁について、点検内容を整理する等の工夫が必要がある。

○工事発注

- ・市内業者育成の観点からも、施工面や条件等を整理する必要がある。

○維持管理に関する取組みの今後の方向性

- ・八尾市の特色を活かすために大学連携によるルールづくりが必要である。